

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【9月定例会】

施政方針及び議案審議…………… 2～3

委員会審議

予算常任委員会…………… 4

決算常任委員会…………… 5～6

一般質問 3人が登壇…………… 7

 池田町

VOL. **35**

令和7年11月1日発行



令和6年度は、ウッドラボ池田の事業で、昨年度講師を招き12回にわたり広葉樹を活用した商品開発やマネジメントの検討を行いました。地元材の特性を生かした商品づくりの方向性を整理し、今後の展開を見据えています。

また、二十祭の式典では、ウッドラボ製の木製時計を新成人に贈り、池田の木の魅力を感じてもらいました。

(表紙：ウッドラボのみなさん、左より

小林さん、内藤工房長、谷口さん)

9月定例会

9月定例会が9月18日から24日の7日間にわたり開催され、全議案可決されました。

令和7年9月18日～24日

議案第48号	令和7年度 池田町一般会計補正予算(第6号) …1億7,322万4千円を追加し、予算の総額を48億8,452万8千円とする(主な事業は別記)
議案第49号	令和7年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …過誤納等に対する保険税還付金等で、21万3千円の補正
議案第50号	令和7年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …決算剰余金を基金に積み立てと、前年度補助金の返還金で、6,067万8千円の補正
議案第51号	令和7年度 池田町簡易水道事業会計補正予算(第2号) …過年度損益修正損の補正
議案第52号	令和7年度 池田町下水道事業会計補正予算(第2号) …下水道施設の通信回線の更新、及び設備等の修繕計画の策定経費の補正
議案第53号	池田町火入れに関する条例の一部改正について …気象庁が用いる予報用語に合わせるための改正
議案第54号	農地等高度利用促進事業(池田清水谷地区)の計画変更について …ほ場整備工事の事業量、事業費変更の議会議決
議案第55号	令和6年度池田町各会計歳入歳出決算の認定について …地方自治法の規定により、前年度の決算の認定
議案第56号	令和6年度池田町公営企業会計利益の処分及び決算の認定について …地方公営企業法の規定により、前年度の決算の認定
議案第57号	工事請負契約の締結について …木質バイオマス施設建屋建設工事の工事請負契約の議決 契約額：1億934万円(うち取引にかかる消費税の額994万円) 契約相手方：(株)関組
議案第58号	財産の取得について …そばの郷池田屋駐車場用地取得 契約額：8,406,350円 契約相手方：(株)エアシーワ
議案第59号 60号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 小森 保之氏(稲荷) 徳南 博文氏(新保) 2名の選任同意

主 な 事 業

千円以下切り捨て

○9月定例会

- ・Jアラートシステムの更新……………341万円
- ・特別養護老人ホーム幸寿苑の照明LED化補助金……………306万円
- ・木質チップ製造における破砕機、グラップルの導入……………7,916万円

町長施政方針及び諸事の報告



池田町内の内発的地域づくりへの取り組みについて

人口減少が進む中であって、いかに人の数に頼らない仕組み、小数にふさわしい社会、経済、生産、生活をどのように作っていくのかを探求してきた。

その結論としては、住民自治の高度化を図るとともに、自助、公助、共助の分担と連携を基に、内発的地域づくりへの取り組みこそ、その答えがあると認識し、各種の支援事業を実施してきた。

自発的で内発的な取り組みを始めることは、容易ではない中、近年の町内の動向では、土地改良事業を機会とした取り組みが芽を出し始めている。

下地区(清水谷集落を中心とした)での取り組み、水海集落での活性化委員会の設置、また水面下では、上荒谷集落、板垣集落、更に

は旧下池田集落においても危機意識とともに協議の始まりを見せているとのことである。

そしてこの度、角間郷地区においてはガバメント(統治)からガバナンス(協治)をテーマに「角間郷地区地域運営組織」が設立され、地域を支える新たな地域自治を目指す決議がなされたとのことである。

町としては、これらの取り組みや活動に積極的な支援を図ると共に、これらの地域活動が他の集落や地域への波及についても支援や助言を継続して行いたいと考えている。



第4回臨時会

令和7年8月29日

第4回臨時会が8月29日に開催され、全議案可決されました。

議案第46号	令和7年度 池田町一般会計補正予算(第5号) …7,989万2千円を追加し、予算の総額を47億1,130万4千円とする(主な事業は別記)
議案第47号	工事請負契約の締結について …庁舎・複合施設建設工事の工事請負契約の議決 契約額：25億9,600万円(うち取引にかかる消費税の額2億3,600万円) 契約相手方：田中建設(株)と(株)関組による特定建設工事共同企業体

主 な 事 業

千円以下切り捨て

○第4回臨時会

- ・水海第二小水力発電所整備に向けた調査設計……………2,605万円
- ・ほっとプラザ駐車場太陽光発電設備設置工事……………2,264万円
- ・広瀬地区雪崩防護柵復旧工事……………2,830万円

質疑応答

委員長 岡村 祐 副委員長 佐野和彦
 委員 宇野邦弘 宇野一正 松井靖明
 丸石純一 富田重弘 清水龍司

農村政策課

富田議員 清水谷トンネルでのホワイトアスパラなどの実証実験は今後どうするのか。
農村政策課長 湿度が非常に高く、カビなどが発生するため、今後は取り組まない。
丸石議員 令和6年度から比べるとかざら橋通行収入が2倍に増えている中で、道場側の料金所しか無く、観光客が戸惑うのでしくみを見直してはどうか。

農村政策課長 かざら橋周辺の状況を確認して、必要であれば考えたい。



▲かざら橋

丸石議員 池田町がアンテナショップとしてのこっぴい屋を出店している意義は。

農村政策課長 町産品の販路拡大と池田町ファン拡大を図るため「こっぴい屋」を出店している。1001匠の会の出荷も限られた中、町内物販拠点での需要の高まりを踏まえ、今後の運営の在り方について具体的に検討していく。

清水議員 10月からあそびハウス、おもちやハウスの職員が1人になることについて対応は。

農村政策課長 フルタイムでの職員を確保出来ている。忙しい時はまちUPの中で融通する。

佐野議員 まちUPいけど、観光公社、農業公社の施設は指定管理で運営しているが、担当課長が経営や運営マネジメントまで直接関与して動かすのは無理があるのではないかと。議会では、指定管理制度の趣旨を踏まえて、町としての運営方針や管理体制の評価、方向性を議論すべきではないかと。

副町長 今後、議会の委員会などでは、運営方針に対する評価や、これからの方向性を中心に整理する。

総務財政課

宇野邦弘議員 財政調整基金、減債基金の持続的な積立は、地方交付税に影響無いか。

総務財政課長 基金については問題ない。将来、不足の事態(災害)、各種事業をしていく中で基金を取り崩す場面もあるため、しっかりと貯めていく。

宇野一正議員 国道476号の道路沿いの危険家屋の対応についてどうなのか。

総務財政課長 通行に支障があれば道路管理者の方で処置をするが、危険家屋については所有者や集落で対応してもらおう。

丸石議員 避難所として指定されている町民体育館に、エアコンの導入が必要ではないかと。

総務財政課長 町民体育館のエアコン導入は、他の市町の情報収集しながら、脱炭素も踏まえて考えていきたい。

保健福祉課

宇野一正議員 医師住宅の今後の活用等については、保健福祉課長 リフォーム等修繕で活用出来るようであればその活用策などを検討する。



▲医師住宅

教育委員会

松井議員 池田町で検討されている義務教育学校と、小中一貫教育の具体的な違いは。

教育長 小中一貫教育は、大きく3つ、小中連携、小中一貫、義務教育学校に分けられる。義務教育学校は全く1つの学校になってしまう。校長は1人、職員室も1つになり、全教職員で9年間の教育を行う。

木望の森づくり課

岡村議員 林業費の支障木伐採事業について、間伐に限られているため効果が見えない。町内の生活道路、国道、県道沿いもインフラ整備され、交通量も増えている。択伐や列状間伐などでより効果的な方法を検討できないか。

木望の森づくり課長 この事業は、基本間伐でされている。それ以外の方法となると伐採後の植栽が義務付けられ、ため難い。

質疑応答

委員長 富田重弘 副委員長 清水龍司
 委員 佐野和彦 宇野邦弘 宇野一正
 松井靖明 丸石純一 岡村 祐

一般会計

総務財政課

丸石議員 消防設備点検について、池田町は点検後の改善指摘に対しての改善報告がすべて行われていると聞いているが、近年3年間の状況はどうなっているのか。
 また、旧池田分校の消防設備の管理は役場が行っているのか。

総務財政課長 役場の施設については、業者に依頼し消防署と連携を取りながら点検報告を行っている。旧池田分校については、現在使用していないので除外している。



▲かざら橋

丸石議員 投票立合について、猛暑での対応・人員確保・人件費等を考慮して投票時間の短縮などを検討できないか。

総務財政課長 期日前投票の時間は、総務省からの指示なので変更は難しい。当日の投票時間については、県の選挙管理委員会との調整が必要である。

宇野邦弘議員 地域交通である福鉄バスの利用者は何人程度か。

総務財政課長 福鉄バスの利用者数は、主に10人程度の高校生が利用している。

宇野邦弘議員 障がい者や高齢者でも乗車しやすいバスを使用しデマンド交通で運営している市町もあるが池田町でも検討しないのか。
総務財政課長 現在使用している町民バスについてはノスタテップではない。乗車人数が少なければ乗車しやすい小型バスを運行している。デマンド交通については、近隣の取組みを注視したい。

佐野議員 高齢者向けスマートフォン購入支援事業について、デジタル化推進が目的であれば、高齢者だけではなく広く町民にアプローチしてはどうか。

総務財政課長 まずは、高齢者にデジタルに慣れていただきたい。昨年はスマホ教室を10回程度開いているが、さらに開催していく。いろんな人に参加していただくことを検討する。

町土整備課

岡村議員 お祭り広場の管理費に周りの水路管理も入っているのか。

町土整備課長 水路は入っていない。管理対象は、樹木の剪定・雪囲いの設置及び撤去・広場の草刈のみ。

公営企業会計決算書
丸石議員 更新時期を迎える管路が増加し、人口減少により収入は減っていく。今後、料金負担を増やす前に、町の方針を示さなければならぬ。

町土整備課長 料金改定については、経営戦略会議の中で財政を含めた検討を行う。本年度中に審議会を立ち上げる予定。

脱炭素むらづくり課長
 同じような構造物であれば施工は可能だが通常の塗料に比べ高額となる。

住民税務課
宇野一正議員 軽自動車税未納件数は。

住民税務課長代理 軽自動車税の未納については26件の未納があり、督促状等で対応している。

保健福祉課

佐野議員 新婚生活補助事業として40万円計上しているが池田町に住む人だけに出るのか。



▲ウッドラボ遮熱塗装

脱炭素むらづくり課
岡村議員 ウッドラボ遮熱塗装工事について、この特殊塗料は町内の一般的な倉庫等に普及が可能な工事なのか。

保健福祉課
佐野議員 新婚生活補助事業として40万円計上しているが池田町に住む人だけに出るのか。

保健福祉課長 この制度は福井県の制度であり、県内どの市町でも婚姻届けを出し、住所要件等を満たせば同額支給される制度である。

宇野一正議員 健康マイレージ事業ポイントシステム使用料を他の健康対策に使用してはどうか。

保健福祉課長 脳べるプロジェクトの一環としてアプリを活用し「歩くことで脳を活性化する仕組み」が、令和5年の実証実験で好評だったということもあり、令和6年度から町の事業として取り組んでいる。この健康マイレージ事業の委託料については今後の動向を見据える必要がある。

清水議員 池田町の介護タクシーが閉業する可能性があると聞いたが、新たな介護タクシー業者はいないのか。

保健福祉課長 町外の介護タクシーを営業している業者から案内はあるが、池田町内からは、現在は聞いていない。

農村政策課

丸石議員 商工会への補助事業について、実績報告から補助額以上の取組みがあった。この点を踏まえれば、商工業のコストパフォーマンスとしては相当に効果を上げており、「よくやってくれた」と評価する。

農村政策課長 補助金の主な内訳としては、揖斐川町商工会と合同で行ったスタンプラリーで、他の新事業はインスタ活用セミナーの経費である。町としては、新たな来町者を受け入れるための、店舗づくりや商品開発などに活用を広げてほしい。

富田議員 スタンプラリーだけで満足していないと評価するのであれば、取組み内容を都度チェックし指導しなければいけないのではないのか。

農村政策課長 令和6年度について、その年度途中での経過報告に対し指導ができていなかった。令和7年度も昨年とほぼ同じ活動内容なので商工会と話をする。

木望の森づくり課

宇野一正議員 田代から河内にかけての山の木が虫の影響で枯れているように見えるが対策はないのか。

木望の森づくり課長 ナラ枯れについては、10年で元に戻ると聞いている。今後注視しながらモニタリングしていく。

佐野議員 ウッドラボの商品開発デザイン委託料の内容は。

木望の森づくり課長 職員と製品企画アドバイザーが合計12回にわたり協議し、広葉樹を活用した商品開発やマネジメントの検討・整理、今後の取組の方向性を定めたものである。



▲ウッドラボ

教育委員会

清水議員 図書購入について、1000冊購入して200冊除籍本とのことで、新庁舎の書籍収納場所が今ある図書室よりも小さくなり入らないのではないのか。

教育委員会事務局長 現状でもすべての書籍の開架はできていない。新施設においてどう配置するかは現在検討している。

丸石議員 いけだの宝探し企画プロジェクトでホームページを作成したとのことだがどこにあるのか。今後ほどのような構想があるのか。

教育委員会局長 募集の要項・ポスター等を作りホームページに載せたものである。今後は、町民文化祭で、取組みの説明や集まった「宝」の紹介展示を行う。



▲中学生による、池田の宝探し



▲ツドエル2階の図書館

決算認定 反対討論
(宇野邦弘)

年間予算の7%総額3億円余が繰越になつている。地方自治法の会計年度独立の原則の例外として認められてはいるが、繰越が多すぎる。また、不要額が予算総額の3・5%、中でも民生費や教育費は各予算の6%以上も不要額となつている。改善すべき。自衛隊が米軍と共に、敵基地攻撃共同訓練をするなど、憲法を踏みこむ舞台にかわつている中で、自衛隊に対象者名簿提供業務に消費しているのは認められない。

一般質問
いっばんしつもん



清水 龍司 議員

第3セクターとの関わり方、運営について

問 6月議会であそびハウス、おもちやハウスのリニューアルと改装企画予算が計上されたが、現在人手不足で、運営が困難になる懸念がある。

答 改装を進めるのであれば、人手不足対策も同時に検討すべき。

問 人材確保は第3セクター（企業側）が考え雇うものだが、状況や営業日数が制限されるのであれば、町も口をはさむべき。

答 農村政策課長 おもちやハウス及びあそびハウスは株式会社まちUPと指定管理契約し運営を委託している。人員の確保と運営体制の整備は同社の責任で行われる。確認したところ、現時点で人手不足で営業に問題が生じる状況ではない。

問 また、あそびハウスにおいてスタッフが不足する際には他部署から応援に入るなど、会社全体で人員配置を行っているとのこと。次に、あそびハウスが別棟であることによる利便性の悪さを解消し、施設全体の魅力向上を図るもの。

答 設計者と運営スタッフが意見交換を行い、運営面の効率化と管理負担軽減、利用者の安全確保、サービスマン向上を反映させている。

意見 社員やアルバイトの働き方も踏まえ、いろんな方の意見を聞いていただきたい。

「未来へ耕す池田米」について



丸石 純一 議員

問 「生命に優しい米づくり」を廃止してまで導入した意図について説明してほしい。池田町の新たなブランドに育てるべきであると考え、町として販売戦略や取組農家への補助金に込めた思いを伺う。

答 農村政策課長 従来の「生命にやさしい米づくり」から移行した意図は三点ある。1. 一点目は品質や環境配慮を可視化し、信頼とブランド価値を高めること。2. 二点目は動や経験に頼らず、科学的データに基づく高度平準化を進めること。3. 三点目は生産者の誇りを醸成し、消費者の共感を得る体制にすること。販売戦略としては、認証シールやQRコードで栽培情報を発信し、マスクミにも積極的に情報提供している。町内の看板類についても更新を検討して

問 池田町における義務教育学校の検討について、進捗状況と今後の見通しを確認したい。特に、義務教育学校の強みをどのように生かし、特色ある教育を実現していくのかを伺いたい。

答 教育長 当初は本年度末までを検討期間としていたが、より丁寧な検証を行うため、1年間延長することとした。来年度には、小中合同での体育祭などを行い、保護者や地域の方々にもご覧いただき、設置の可否を判断していきたいと考えている。また、義務教育学校への移行により、教員の小中相互乗り入れが容易になることや、教科力やキユラムを柔軟に編成できるようなることなど、池田町独自の特色ある教育を推進する上で多くの利点がある。

義務教育学校について

問 県内6自治体が給食完全無償化を、3自治体が半額助成などを行っている。池田町でも完全無償化に踏み切るように。

学校給食無償化について

答 また、全国では41自治体が全国オーガニック給食協議会に参加している。池田町も加入し、有機食材のさらなる有効活用を図るよう。

問 1食当たりの給食単価は県内でも比較的高く、質の良い給食と言え。年間食材費のうち町が373万円負担しており、保護者負担は532万円に抑えられている。

答 全国オーガニック給食協議会への参加については、給食の有機化は地域の農業基盤と連携すべきと考えており、参加は行わない。

問 池田町側で、山肌からの落石の危険性が、その理由で通行止めとなっているが、開通の目的は。

答 山肌の転石は国有林内のため、林野庁に対策工事を要望しているが、現時点では具体的な対応の回答は得ていないため、開通の目的は立っていない。

学校現場での調査など「香害」への対応について

問 日本臨床環境医学会の調査結果では、洗剤等の「香害」で、小学低学年6・8%、高学年で11・2%、中学生では12・9%が、腹痛、吐き気などを訴えている。町でこうした調査はできないか。

答 公的空間での「香害」への対応も必要ではないか。

冠山林道の通行止め解除のめどは

答 池田町側で、山肌からの落石の危険性が、その理由で通行止めとなっているが、開通の目的は。

答 山肌の転石は国有林内のため、林野庁に対策工事を要望しているが、現時点では具体的な対応の回答は得ていないため、開通の目的は立っていない。

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

揖斐川町議会・池田町議会

クラウンロード(R417)改良整備促進期成同盟会設立

10月17日の揖斐川町と池田町の議員交流会において、徳山ダム～横山ダム区間の道路改良、志津原～徳山ダム区間の携帯電話の通話区間拡大などを目的に、双方の議員を中心とした新たな同盟会を設立しました。

今後は、安全性、機能の向上の実現に向け、国や県などの関係機関に対し要望活動を実施してまいります。



▲同盟会設立

足羽川ダム本体工事 進捗について

9月定例会の足羽川ダム対策特別委員会で、事業の進捗状況などが報告されました。コンクリートの打設率は78・6%となり、いよいよダム全体の姿が見えてきました。完成に向けて工事は順調に進んでおり、下流域の洪水対策機能の向上が期待されています。



▲足羽川ダム本体工事

庁舎複合施設工事 安全祈願祭

10月1日に新しい庁舎複合施設の建設にあたり、安全祈願祭が行われました。町長や関係者が工事の安全と無事故を祈り、地域の新たな拠点として期待が高まります。庁舎は行政機能だけでなく、図書館や交流施設として活用される予定です。



▲庁舎複合施設工事安全祈願祭

編集後記

町内の国道を中心とした道路整備も完了し、いよいよ新庁舎複合施設の建設に向け、10月1日に安全祈願祭が執り行われました。

いよいよ「まち整備からまち育て」が本格的に動き出したとの感じているところでもあります。

町民の皆様が安心安全で暮らせるために、そして先進的で充実した小社会の構築のための拠点として、新庁舎複合施設の完成に期待を寄せています。

(宇野一正)



議会広報特別委員会

委員長	清水 龍司
副委員長	宇野 一正
委員	丸石 純一
委員	富田 重弘
委員	岡村 祐
発行責任者	
議長	松井 靖明